



## 第12回日本ガラスびん協会 研究発表会から

昭和63年10月6日(木)、農協ビル(東京)8階国際会議室において、第12回日本ガラスびん協会研究発表会が開催された。発表タイトルと発表者は下記の通りである。

硫黄酸化物削減に関する脱硫装置について

日本硝子(株) 小澤 絃司

小型バイアルびん開発上の問題について

第一硝子(株) 石川 正

口部ピリ減少対策

新日本硝子(株) 竹部 新三

軽量化に対する一考察

広島硝子工業(株) 新谷 吉章

ガラス成形時の非定常熱伝導シミュレーションの一応用例

石塚硝子(株) 野村 好幸  
大藪 政次

ロータリー方式検査機における移動対象物の画像処理

日本耐酸埴工業(株) 榎本 正憲  
ガラスびんリサイクリング活動の現況について

石塚硝子(株) 加藤 勇夫  
検査機の性能向上 山村硝子(株) 富田 康弘  
パソコンを使用した検査ラインのデータ処理

麒麟ビール(株) 井上 文博  
密封容器の真空度検査機開発

東洋ガラス(株) 五味 潤 忠

ニューガラスに直接関係する部分は少ないと思われるが、ガラス業界が現在抱えている問題の一端を伺がうものとしてご紹介した。

(NGF 上松敏明)